



寒さも緩み、青天に恵まれた三月二十三日、平成十二年度の卒業式が臨床講堂で行われた。卒業生は医学科九名、看護科六名の計一六一名であった。男子学生はスーツ、女子学生は着物や袴を身にまとい、晴れ晴れとした気持ちでこの卒業式を迎えた。

杉森甫学長は「今後は我がが患者さんと同じ立場に立って、共に治療に努めていく必要がある。それに伴って、皆さんの人間性がますます問われる時代になるところ。どうか命をいとむ。式の後、式場のロビーでは、互いに別れを惜しんで写真撮ったりしている姿が見られた。式場の外では、卒業生を待ち構えていた部活の後輩達や先輩を見つけては花束や書き添った色紙を手渡ししたり、恒例の胴上げを行ったりしていた。中には着物の女子学生も由を舞っていた。祝福の仕方は部活特有のものがある一方で、ある部活では、大声を張り上げて先輩を祝福

おしみ、人を愛して医療を行ってほしい。」とはなむけの言葉を送った。卒業生代表の堤智子さんは、謝辞の中で「自由気ままな一人暮らしを満喫しながらも、病気のやけの時に、実習や試験勉強で忙しい時には、今まで当たり前のように三食お風呂付きの生活を保証してくれた両親のありがたみをひしひしと感じました。」と学生生活を振り返った。また、「患者さんやその家族の方々に對して常に暖かい心で接し、チーム医療を実践するとともに、自らも幅広い視野や教養を備えた医師、看護師、保健婦となることのできるよう生涯学習の精神を持って日々努力してまいります。」と今後の抱負を語った。

式の後、式場のロビーでは、互いに別れを惜しんで写真撮ったりしている姿が見られた。式場の外では、卒業生を待ち構えていた部活の後輩達や先輩を見つけては花束や書き添った色紙を手渡ししたり、恒例の胴上げを行ったりしていた。中には着物の女子学生も由を舞っていた。祝福の仕方は部活特有のものがある一方で、ある部活では、大声を張り上げて先輩を祝福



「科」卒業式の様子。卒業生が証書を手にし、笑顔を見せている。

①卒業式の感想は？
—大変立派な卒業式をありがとうございました。いろいろお話を聞いたり、先輩の話を聞いたりして、いろいろなことを存分に楽しんで下さる。卒業式は、泥まみれ、またある部活は、みれのユニフォームのまま先輩を囲み、手荒く祝福をしていた。

医大に残り、次いで多い内定先として九大二名、熊大六名と続いている。科ごとに見ると上位三つは外科学系(二名)、内科系(二名)、小児科(六名)となっている。看護学は約三分の一に当たる二〇名が佐賀医大に残り、次いで多い就職先として九大七名、久留米大四名と続いている。また、看護学は進学者が五名となっている。新年度からは卒業生一人一人がそれぞれの空へ羽ばたいていった。(小松・坂本)

祝卒業

羽ばたけ卒業生



第1号
2001年5月発行
佐賀医科大学
〒849-8501
佐賀市鶴島5丁目1番1号
http://www.saga-med.ac.jp/
新聞編集委員会
印刷/協和堂印刷



今年の卒業生の卒後の内定情報によると医学科は約半数に当たる四五名が佐賀

桜の花も咲きそろい、穏やかな春の日となった四月四日、臨床講堂において平成十三年度の入学式が行われた。今年度の入学生は医学科九名男五一名、女四四名、看護学科六〇名男一名、女五九名、看護科編入生二〇名の計一六五名であった。新入生は慣れないスーツ姿で入学式のそらだ。

新入生歓迎

一六五名初顔合せ

誘合戦が繰り広げられた。四月十三日には、ルネッサンスホテル創世にて新入生歓迎会が行われた。この会では、新入生達は壇上から、一人一人、自己紹介と入部する部活の発表を行った。新入生の入部希望者は医学科七八八(二〇%)、編入生も含め看護学科三七八(五三%)であった。歓迎会の段階における新入生の各部活の入部状況は左の一覧表の通りである。

Table with 4 columns: Department (部), Active (活), Medical (医), Total (総数). Rows include departments like Nursing (看護), Midwifery (看護婦), and various medical fields.

Table showing exam results for National Examinations (国家試験) for 2001. Columns include Exam Type (区分), Pass Rate (合格率), and National Average (全国平均).



イスラ ワヒドール イスカンダー
「厚底ブーツ。あれは危ないよ！転んだらどうするの？」
「学生のうちから、病院で実質的な経験を積むというと思う。インドネシアでは、五・六年の学生実習で、いきなり手術のアシスタントをさせられるからね。その分経験も豊富になったよ。」
佐賀医大を一言でいうと？
「Felix (笑)なるほど、確かに煉瓦ばかりです。ユニフォーム溢れる取材でしたデータ」
趣味：剣道、合気道、写真

「あそこは、閉鎖した国で文化的な所らしいから興味がある。」
アジアの文化・歴史についても関心をもたれているようにした。



ブラリアン・A アンダーセン
「特別な名前、同じ人間だし。でも、あえて挙げれば車の歩道乗り上げ。あれはビックリしたよ。アメリカじゃ絶対ないから。」
日本で学語的に不便なとき
「初めの一人暮らし。初めてのこと、目標はあるか？」
「まだわからない。運動部でがんばりたい。読書をたくさんしたい。」
「どういう医師、看護婦になりたいか？」
「患者さんの立場に立って医療を行える医師。」
「頼り甲斐のある看護婦さん。」
⑤心配な事、不安に思っている事はあるか？
「友人・先輩とのよい関係の作り方。」

「自然が好きで、山登りもするそうです。今まで見た映画で一番好きなのは「Jurassic Park」。

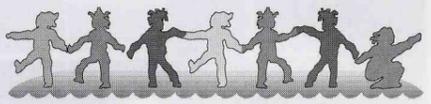
「英語は一生役立つと思うんだ。だから、チャンスがあるうちに勉強してほしい。」
「佐賀医大を一言でいうと？」
「ego. 医大ということ。死と向き合う真剣さを感じるから。かなり悩んだからの回答でした。」

「あそこは、閉鎖した国で文化的な所らしいから興味がある。」
アジアの文化・歴史についても関心をもたれているようにした。

「あそこは、閉鎖した国で文化的な所らしいから興味がある。」
アジアの文化・歴史についても関心をもたれているようにした。

「あそこは、閉鎖した国で文化的な所らしいから興味がある。」
アジアの文化・歴史についても関心をもたれているようにした。

「あそこは、閉鎖した国で文化的な所らしいから興味がある。」
アジアの文化・歴史についても関心をもたれているようにした。



学生課コーナー

者中心の医療の実践、安全性の配慮、信頼される人間関係、自ら問題を発見する姿勢や研究への動機付けなどを含み課題探求・問題解決能力を身につけることなどである。また生涯にわたってその向上に努める事も重要な責務の一つである。さて、佐賀医大における基本理念ならびに教育の目標は何であろうか。学生生活のしおりをひもとくと、医学的問題を処理、解決できる能力を持ち、医の倫理に徹した医療職者を養成することである。つまり、卒業時点で学生が医学上の問題に直面した時、問題を正しく把握認識し、処理できるよう準備することである。つまり、そのために、学生は能動的に教育課程を受け入れ、自己学習能力を身につけることを求めている。

つづけることを求めています。一方、教官にはそれを支えるべく個別指導を行うことを求めています。そのために、医大は当初からより効果的な教育法としてPBL(Problem Based Learning) 問題立脚型学習を導入する方向で検討がなされてきました。

その間はずしも時代が要請する教育の改善をしてこなかったという反省もあり、医大では数年前からより効果的な教育法としてPBL(Problem Based Learning) 問題立脚型学習を導入する方向で検討がなされてきました。

解決法をさぐる、つまり自ら学習する方法であります。一般的にはチュートリアル方式ともいわれています。各グループにはPBLチュートラーといわれる教官がつき、学習を進めるためのアドバイスをしています。内容としても学ぶ学年に応じて

ような利点を得ることが可能であります。一、自己学習の方法と習慣を身につけることができる。今までの講義は一方的に与えられるだけで、その中で能動的に学習する側面は発揮しにくいのです。その点自学自習を求めるこのPBLは

自ら積極的に活動することが学ぶ内容を身に付けることができ、医療職者に生涯学習が求められることを考えるとそれとよく合致します。二、科学的根拠に基づいた問題解決法を身に付けることができる。科学が発達した現在、昔ながらの経験ばかりに頼らずに客観的事実に基づいて処理することが当然求められます。また、最初に述べた患者中心の医療の実践、信頼される人間関係を作り出すようなテーマ、例えば倫理的な内容などを折り込むことにより、その線に沿った内容を学ぶことも可能になります。三、集団の中の協調性や積極性ならびに責任を發揮できる態度と技量を身に付けることができ

責任ある医療を実践する上で必要なことと思われまます。佐賀医大では本年度の四月から二年生に新しい教科「人体科学入門」がスタートしました。その中で基礎科学的、基礎医学的な内容をPBL方式で学ぶようにしている。すでにスタートした今、学生もPBLチュートラーも模索が続く一方、学生が講義より面白そうという言葉が印象的である。彼らが三、四年生になると臨床医学的、社会医学的内容が中心のPBLが全面的に展開される予定である。佐賀医大の開学時に続く第二の実験、PBLが軌道に乗るよう全学あげて努力を続けていくつもりであるし、またそれを今しばらく見守っていただきたい。(生化学講座 向井)

PBL教育

PBLとは、従来の講義形式とは違い、学生をグループ六人程度の少人数にわけ、提示された課題に対してグループでの討議、各種メディア、またはリソースパワソンといわれる専門分野の教官のアドバイスを得て、自ら問題点を見つけ、

PBLとは、従来の講義形式とは違い、学生をグループ六人程度の少人数にわけ、提示された課題に対してグループでの討議、各種メディア、またはリソースパワソンといわれる専門分野の教官のアドバイスを得て、自ら問題点を見つけ、

PBLとは、従来の講義形式とは違い、学生をグループ六人程度の少人数にわけ、提示された課題に対してグループでの討議、各種メディア、またはリソースパワソンといわれる専門分野の教官のアドバイスを得て、自ら問題点を見つけ、

現在の日本は色々な分野で改革が求められている時代である。大学も例にもれず教育の現場でも改革が求められている。佐賀医大も開学以来二十余年を迎え、教育研究の見直しを早急に行う必要がある。今日医学・医療の現場と一般社会から医師として求められるものは、自己学習能力を身につけることを求めている。

視、選択コースの設定、チューター制度などを導入してきまされた。このように大変すばらしい教育の枠組みが医大では二十数年前に他の大学に先んじて実験的にスタートしたのです。た

野の教官のアドバイスを得て、自ら問題点を見つけ、

ここがうまいよ 医大生



ランチ(八五〇円) スープ、魚料理、肉料理、サラダ、パン又はライス、シャーベット、コーヒー

かわいい雰囲気 洋食屋さん あんだ亭

このコーナーでは筆者が独自の偏見でおいしいと思うお店を紹介いたします。今回は「あんだ亭」さんに伺ってみました。

ランチがおいしくてお手頃な価格の「あんだ亭」は、平成五年五月にオープンしたかわいい雰囲気の洋食屋さんです。とにかく料理がおいしいのですが、シェフは本を読んだり、他の店で食べたものをオリジナルに再現したりと、独学で学んだというから驚きです。

このコーナーでは筆者が独自の偏見でおいしいと思うお店を紹介いたします。今回は「あんだ亭」さんに伺ってみました。

このコーナーでは筆者が独自の偏見でおいしいと思うお店を紹介いたします。今回は「あんだ亭」さんに伺ってみました。

このコーナーでは筆者が独自の偏見でおいしいと思うお店を紹介いたします。今回は「あんだ亭」さんに伺ってみました。

このコーナーでは筆者が独自の偏見でおいしいと思うお店を紹介いたします。今回は「あんだ亭」さんに伺ってみました。

このコーナーでは筆者が独自の偏見でおいしいと思うお店を紹介いたします。今回は「あんだ亭」さんに伺ってみました。

このコーナーでは筆者が独自の偏見でおいしいと思うお店を紹介いたします。今回は「あんだ亭」さんに伺ってみました。

このコーナーでは筆者が独自の偏見でおいしいと思うお店を紹介いたします。今回は「あんだ亭」さんに伺ってみました。

このコーナーでは筆者が独自の偏見でおいしいと思うお店を紹介いたします。今回は「あんだ亭」さんに伺ってみました。

このコーナーでは筆者が独自の偏見でおいしいと思うお店を紹介いたします。今回は「あんだ亭」さんに伺ってみました。

クーポン券 食事の方に限りデザートサービス



このコーナーでは筆者が独自の偏見でおいしいと思うお店を紹介いたします。今回は「あんだ亭」さんに伺ってみました。

このコーナーでは筆者が独自の偏見でおいしいと思うお店を紹介いたします。今回は「あんだ亭」さんに伺ってみました。

このコーナーでは筆者が独自の偏見でおいしいと思うお店を紹介いたします。今回は「あんだ亭」さんに伺ってみました。

このコーナーでは筆者が独自の偏見でおいしいと思うお店を紹介いたします。今回は「あんだ亭」さんに伺ってみました。

このコーナーでは筆者が独自の偏見でおいしいと思うお店を紹介いたします。今回は「あんだ亭」さんに伺ってみました。

このコーナーでは筆者が独自の偏見でおいしいと思うお店を紹介いたします。今回は「あんだ亭」さんに伺ってみました。

このコーナーでは筆者が独自の偏見でおいしいと思うお店を紹介いたします。今回は「あんだ亭」さんに伺ってみました。

このコーナーでは筆者が独自の偏見でおいしいと思うお店を紹介いたします。今回は「あんだ亭」さんに伺ってみました。

豊かな時代のサバイバル

二十世紀の最初の新学期ということとありえず、是非一度ご来店ください。是非一度ご来店ください。

二十世紀の最初の新学期ということとありえず、是非一度ご来店ください。是非一度ご来店ください。

二十世紀の最初の新学期ということとありえず、是非一度ご来店ください。是非一度ご来店ください。

二十世紀の最初の新学期ということとありえず、是非一度ご来店ください。是非一度ご来店ください。

二十世紀の最初の新学期ということとありえず、是非一度ご来店ください。是非一度ご来店ください。

二十世紀の最初の新学期ということとありえず、是非一度ご来店ください。是非一度ご来店ください。

二十世紀の最初の新学期ということとありえず、是非一度ご来店ください。是非一度ご来店ください。

二十世紀の最初の新学期ということとありえず、是非一度ご来店ください。是非一度ご来店ください。

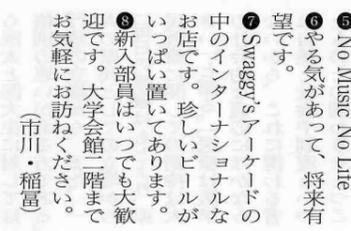
部活動紹介

新入生の皆さん、部活には慣れ楽しんでますか?このコーナーでは毎号体育系部活と、文科系部活を一つずつ紹介していきます。第一回目の今日は、テニス部と軽音楽部を紹介しようと思います。

テニス部 総数八二人。男子三〇人、女子五二人。水・土曜日に全体練習を行っています。それ以外の日は自由参加ですが、月・火・金曜日メニューを組んで練習を行っています。

軽音楽部 総数三〇人。水・土曜日に全体練習を行っています。それ以外の日は各自個人練習です。

軽音楽部 総数三〇人。水・土曜日に全体練習を行っています。それ以外の日は各自個人練習です。



新しく生まれ変わった医大新聞のタイトルは、学生の応募多数の中から医学科3年安達正時君の「Mudskippers」(ムツゴロウ)の意が選ばれました。記念品が贈られます。

心機一転、新しい佐賀医大新聞の発行を目指し編集委員会を重ね、ここに初刊の発行となった次第である。

木本 雅夫教授 (編集委員長) 池田 豊子助教 棚町 豊一 (フォトセンター)

この新聞には学生、教職員、そして読者の皆さんから感想、意見、要望などをどしどしお寄せいただきたいと思います。

この新聞には学生、教職員、そして読者の皆さんから感想、意見、要望などをどしどしお寄せいただきたいと思います。